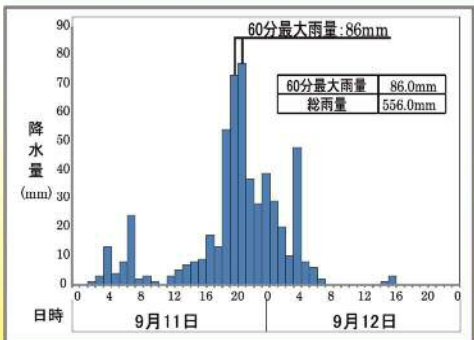
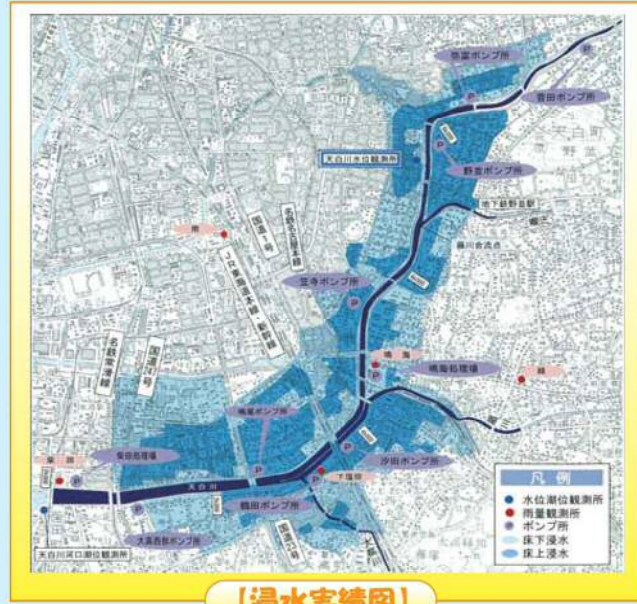


主な出水の記録

東海豪雨

平成12年9月11日から12日にかけて発生した東海豪雨は、植田川観測所において60分最大雨量86mm、総雨量は556mmを記録しました。天白川では長時間にわたり計画高水位を越える状態が続き、既往最高水位を記録しました。天白川沿川で発生した被害は、浸水面積約1,000ha、浸水戸数約8,200戸に達し、伊勢湾台風以来の大水害となりました。



※60分最大降雨量は、19:30～20:30間の合計雨量です。

【植田川雨量観測所の降雨状況】

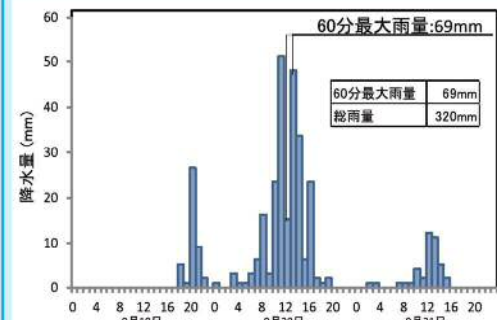


【浸水被害の状況】

平成23年9月豪雨（台風15号）

平成23年9月の台風15号による豪雨では、植田川雨量観測所において60分最大雨量が69mm、総雨量は320mmとなるなど、東海豪雨以来の出水となり、天白島田水位観測所（10.750k）付近では、氾濫危険水位近くまで水位が上昇しました。

平成23年9月豪雨の洪水の痕跡を調査したところ、改修済みの区間では計画高水位に達していませんでしたが、まだ改修の終わっていない整備計画区間では計画高水位を上回る地点がありました。改修済み区間の天白川水位観測所（7.375k）では、今回の洪水による実際の水位と改修前の想定水位を比較したところ、約3.3mの低下となり、越水や破堤などによる被害の恐れが軽減し、内水排水の改善に寄与したことが確認されました（右下図）。

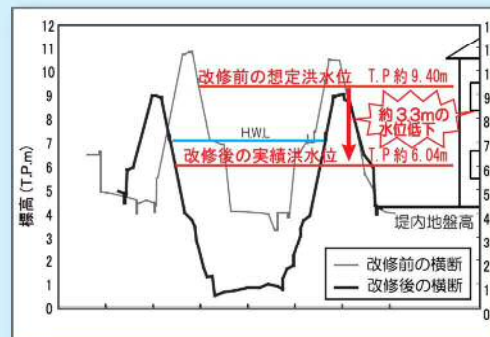


※60分最大降雨量は9月20日12:20～13:20間の合計雨量です。

【植田川雨量観測所の降雨状況】



【天白島田水位観測所付近の状況】



【改修前後の水位の比較】



二級河川
天白川

[菅田橋（9k038）より上流]

河川の概要

天白川は、その源を愛知県日進市米野木町三ヶ峯付近（標高170m）に発し、岩崎川、繁盛川、植田川、藤川、扇川を合わせ、名古屋市港区船見町地内で名古屋港を経て伊勢湾に注ぐ河川延長約21.5km、流域面積約118.8km²の二級河川です。

流域は、名古屋市、東海市、大府市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町の6市1町からなり、流域内の人口約62万人を抱える県内有数の都市河川です。

平成21年3月には「天白川水系河川整備計画」を策定し、河川の整備を進めています。

